

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月19日更新

事務事業名	商工会運営支援事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	6	産業の健康	所属部	政策部	課長名	松田 勝
	施策	27	商工業の振興	所属課	商工振興課	担当者名	木部 幹久
	施策の柱	72	人材確保と生産・販売力の強化	所属班	商工振興班	(内線)	1274
予算科目	会計一般	款7	項1	目2	事業連番10308	根拠法令	成果優先度評価結果：① コスト削減優先度評価結果：⑩
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	市内中小零細企業の振興と地域経済の活性化を図るため商工会へ補助金を支出する。 (昭和35年5月商工会法の制定に伴い市町村の取組みが始まった。合志町商工会は昭和36年12月に設立、西合志町商工会は昭和39年7月設立した。平成18年2月27日に合志町と西合志町が合併し合志市となったことを受け、両商工会は合併協議会を設立し、平成20年4月1日に合併し合志市商工会となった。)
【業務の流れ】	申請書受付、交付決定、支払、実績報告、商工会総会へ出席(青年部、女性部含む)、商工会事務局との日程及び各種事業の打合せ、商工会の役員研修への参加
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	プレミアム付商品券事業(平成27年度)の終了により、新規加入事業者の一部が脱退した。商工会加入のメリットをいかにして高めていくかが課題。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	・合志市商工会への補助金を支出。 ・総会への出席(青年部、女性部含む)、地域問題懇談会への出席、事務局との日程及び各種事業の打合せを実施。	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成28年度は地震のために振るわなかった事業があった。平成29年度は新たな創業者の発掘(女性)を目的に創業支援の拡大を行ない女性が参加しやすい講演会、セミナー等を開催する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)H ア:申請受付、交付決定、支払い、実績報告の処理時間 イ:	予算の主な増減の理由 創業者の発掘(女性)を目的に創業支援の拡大に伴う補助金の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市商工会		②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位) ア:商工会会員数 イ:社
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 商工会の財政を安定化し、商工会が行なう経営改善普及事業や地域振興事業をスムーズに運営することができるようにする。		③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位) ア:経営改善普及事業の指導回数 イ:地域振興事業の回数 回
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 経営改善普及事業や地域振興事業を展開していくことで会員の経営健全化が図られる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア	H	500	500	500	500	500	500	500	500	
	イ										
② 対象指標	ア	社	682	710	720	711	720	720	720	720	
	イ										
③ 成果指標	ア	回	3,493	3,493	3,400	3,435	3,400	3,400	3,400	3,400	
	イ	回	8	8	7	8	8	8	8	8	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	12,822	12,300	12,600	14,100	14,000	14,000	14,000	14,000
		(A)事業費計	千円	12,822	12,300	12,600	14,100	14,000	14,000	14,000	14,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	5	5	5	5	5	5	0
延べ業務時間	時間	1,650	1,820	1,600	910	1,600	1,600	1,600	0		
(B)人件費計	千円	6,573	6,757	6,374	0	6,374	6,374	6,374	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	19,395	19,057	18,974	14,100	20,374	20,374	20,374	14,000		

事務事業名	商工会運営支援事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 今後とも連携を密に取っていくことで目標達成の見込みである。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 今後とも連携を密に取っていくことで目標達成の見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 更なる経営改善を目指し、市内中小企業が相談を行えば普及事業の指導回数は増加する。 また、商工会が積極的に地域貢献することにより、地域振興事業の回数は増加する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市内中小企業（商工会会員、非会員）へのサービス等の維持のため、現状の事業を継続していく必要があり、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付事務の簡素化や担当者のスキルアップを図る。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内中小企業（商工会会員、非会員）の経営健全化が図られることにより、税収が増加し不特定多数の人に利益をもたらすため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金支払事務と商工会事業への参加が市の主な役割であるため、分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

補助金支払い事務を円滑に行なったことで、商工会が行なう経営改善普及事業や地域振興事業をスムーズに運営することができ、市内中小零細企業（商工会会員、非会員）の経営健全化の手助けとなった。
また、商工会主催の各種事業へ参加し商工会と密に連携がとれた。
なお、プレミアム付商品券事業（平成27年度）の終了に伴い、脱退者が生じたものの、年度を通じては微増した。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>平成27年度の一時的な増加を除けば、会員数は頭打ちの状況になっている。商工会の基礎的な事業である経営指導等の維持強化により会員メリットを示すことで、より多くの事業者の経営健全化を図ることにつながり、将来の会員増加に結びついていく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>商工会の非会員に対して、会員になることのメリットを伝える方法。</p>																						